

情報

2年

社会と情報

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースI・Sクラス	情報	社会と情報	必修 2単位	桑原寛昭
教科書	東京書籍「社会と情報」		副教材	東京書籍「社会と情報 学習ノート」
授業のねらい	1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。 2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。 3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。			
学習上の留意点	1. 教科書、副教材、学生証(ユーザIDとパスワード)のすべてを毎時間持参する。 2. 特別な指示が無い場合、直接コンピュータ教室に集合する。			
評価方法	各学期の10段階評価は、定期テストの素点に平常点10点を加えたものを絶対評価でつける。 平常点は演習課題の評価も踏まえて算出する。 学年の評定は、各学期の10段階評価を加えたものを相対評価でつける。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	1章 私たちを取り巻く情報	・コンピュータ教室でのマナーを理解する。 ・メディアの種類と特徴を理解する。	
	5月	アナログからデジタルへ 中間試験	・情報の信頼性について評価する。 ・デジタル表現の種類とその利点・問題点について学ぶ。	
	6月	情報の表現と伝達	・コンピュータによる情報伝達の特徴について学ぶ。 ・適切なメディアの選択について学ぶ。	
	7月	期末試験	・プレゼンテーションの重要性について学ぶ。 ・ソフトウェアを活用してプレゼンテーションを行う。	
2 学 期	9月	2章 インターネットの利用	・インターネットや電子メールの仕組みを学ぶ。 ・効率よく情報を検索する方法について学ぶ。	
	10月	ネットワークとコミュニケーション 中間試験	・メディアの変遷について学ぶ。 ・インターネット上のメディアについて学ぶ。	
	11月	3章 情報化の影響と課題	・情報犯罪や迷惑行為と安全対策について学ぶ。 ・情報社会における望ましい態度について学ぶ。	
	12月	法律と個人の責任 期末試験	・著作権と著作権法について学ぶ。 ・プライバシーと個人情報漏洩の対策について学ぶ。	
3 学 期	1月	4章 社会における情報システム	・情報システムの種類と特徴について学ぶ。 ・情報技術による社会変革について学ぶ。	
	2月	情報システムと人間 情報社会と問題解決	・情報システムの問題点とその対策について学ぶ。 ・実際にQRコードを作成してみる。	
	3月	学年末試験	・問題解決の手順と情報機器の活用例について学ぶ。	

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(理系)		情報	社会と情報	必修	2単位	桑原寛昭
教科書	東京書籍「新編 社会と情報」		副教材	P検協会「新「情報」学習ノート」 P検協会「新「情報」活用テキスト」		
授業のねらい	1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。 2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。 3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。					
学習上の留意点	1. 教科書、副教材、学生証(ユーザIDとパスワード)のすべてを毎時間持参する。 2. 特別な指示が無い場合、直接コンピュータ教室に集合する。					
評価方法	各学期の10段階評価は、定期テストの素点に平常点10点を加えたものを絶対評価でつける。 平常点は演習課題の評価も踏まえて算出する。 学年の評定は、各学期の10段階評価を加えたものを相対評価でつける。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	1章 情報を表現する	・コンピュータ教室でのマナーを理解する。 ・クラウドコンピューティングの仕組みや利用について学ぶ。 ・アナログとデジタルの意味、情報量の単位を学ぶ。			
	5月	中間試験	・画像や音、動画のデジタル化の仕組みについて学ぶ。			
	6月		・ネットワークの構成について学ぶ。 ・情報の信頼性について理解する。			
	7月	2章 ネットワークを探索する	・メディアリテラシーを身に付ける。 ・コミュニケーション手段の発達や特徴を理解する。			
2 学 期	9月	3章 情報社会の課題を考える	・情報や情報社会についての意味を理解する。 ・インターネットの特質と個人の責任などについて学ぶ。			
	10月	中間試験	・個人情報とその保護などについて調べる。			
	11月		・情報セキュリティについて学ぶ。			
	12月	4章 情報で暮らしが変わる	・日常の中にある様々な情報技術について学ぶ。 ・情報化による社会の変化を理解する。 ・ICTの普及率とデジタルデバイドについて理解する。 ・発想法を学び、問題解決の方法と手順を理解する。			
3 学 期	1月	5章 活動して提案する	・データの中から必要な情報を抜き出し、分析をする。			
	2月		・マナー啓発のCMをスライドで作成する。			
	3月		・生活時間を見直し、マイルールのポスターを作成する。 ・業界研究をし、スライドにまとめて発表・相互評価する。 ・アンケートを行い、結果の分析をして発表する。			
		学年末試験				

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)	情報	社会と情報	必修 2単位	前田良郎・山田哲也
教科書	東京書籍「新編 社会と情報」		副教材	P検協会「新「情報」学習ノート」 P検協会「新「情報」活用テキスト」
授業のねらい	1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。 2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。 3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。			
学習上の留意点	1. 教科書、副教材、学生証(ユーザIDとパスワード)のすべてを毎時間持参する。 2. 特別な指示が無い場合、直接コンピュータ教室に集合する。			
評価方法	各学期の10段階評価は、定期テストの素点に平常点10点を加えたものを絶対評価でつける。 平常点は演習課題の評価も踏まえて算出する。 学年の評定は、各学期の10段階評価を加えたものを相対評価でつける。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	単元	学習目標		
1 学 期	4月	1章 情報を表現する	・コンピュータ教室でのマナーを理解する。 ・クラウドコンピューティングの仕組みや利用について学ぶ。	
	5月	中間試験	・アナログとデジタルの意味、情報量の単位を学ぶ。 ・画像や音、動画のデジタル化の仕組みについて学ぶ。	
	6月		・ネットワークの構成について学ぶ。 ・情報の信頼性について理解する。	
	7月	2章 ネットワークを探索する	・メディアリテラシーを身に付ける。 ・コミュニケーション手段の発達や特徴を理解する。	
2 学 期	9月	3章 情報社会の課題を考える	・情報や情報社会についての意味を理解する。 ・インターネットの特質と個人の責任などについて学ぶ。	
	10月	中間試験	・個人情報とその保護などについて調べる。 ・情報セキュリティについて学ぶ。	
	11月		・日常の中にある様々な情報技術について学ぶ。 ・情報化による社会の変化を理解する。	
	12月	4章 情報で暮らしが変わる	・ICTの普及率とデジタルデバイドについて理解する。 ・発想法を学び、問題解決の方法と手順を理解する。	
3 学 期	1月	5章 活動して提案する	・データの中から必要な情報を抜き出し、分析をする。 ・マナー啓発のCMをスライドで作成する。	
	2月		・生活時間を見直し、マイルールのポスターを作成する。 ・業界研究をし、スライドにまとめて発表・相互評価する。	
	3月		・アンケートを行い、結果の分析をして発表する。	
		学年末試験		